

# 予算決算委員会

予算決算委員会に付託された議案は10件。9月20日に開催し、審査を行いました。

## 議案

### ◆議案第30号

「令和5年度弥富市一般会計補正予算（第3号）」

臨時財政対策債が5660万円減額され予算現額は6240万円となった。普通交付税算定の際の財源不足額に対する臨時財政対策債の比率は、直近5年間でどの様に推移しているのか。

【答】 令和元年度22・76%、令和2年度32・84%、令和3年度71・86%、令和4年度24・13%、令和5年度10・61%である。

## 総務部 決算審査



### ◇決算全般について

【問】 実質収支比率が8・4%と高い理由は。

【答】 法人市民税、固定資産税、普通交付税の増加に起因する財政運営。

【問】 地方交付税の増加理由は。

【答】 基準財政需要額の増加によるもの。

【問】 基準財政需要額の増加要因は。

【答】 社会福祉費、地域振興費、下水道費の増加。

【問】 財政の弾力性を判断する経常収支比率は。

【答】 令和4年度89・3%で尾張西部6市において中位。

【問】 基金が大きく積み上がった要因は。

【答】 主な要因は、令和4年9月補正の普通交付税の増額2億3853万5千円、繰越金の増額2億8671万7千円、12月補正の名古屋西流通センター（株）有価証券売却収入1億1620万円など。

【問】 予算と決算で約10億円の乖離の要因は。

【答】 執行残の積み重ねによるもので、性質上前年度に繰越明許費を設定していた事業のため、減額補正がでないものもあり、乖離が生じる。

【問】 実質収支9億3500万円ほどの黒字の要因は。

【答】 法人市民税や家屋に係る固定資産税の増加に伴う市税の増加、臨時財政対策債償還率の減少による普通交付税の増加が主な要因。

【問】 義務的経費の増加理由、今後の見込みは。

【答】 人件費、扶助費、公債費が増加。今後も全体的に増加を見込んでいる。

【問】 法人市民税は今後も伸びると予想するか。

【答】 予測は難しいが、今後とも注視していく。

【問】 各課の職員数の増減理由は。

【答】 体制の強化や勤務形態の変更、職員の配置の見直しによるもの。

◇自主防災組織支援事業について

【問】 防災訓練の件数は増えているか。

【答】 令和3年度9件、令和4年度17件実施し、8件増加。

## 建設部 決算審査



### ◇農林水産業費について

【問】 前年度からの伸び率が、68・0%となっているが、特筆する減少項目は。

【答】 経営体育成支援事業補助金を始め、多面的機能支払事業の減少など。

◇農業振興事務事業について

【問】 共同防除事業補助金は、面積に対して増額されカメムシ防除への意識が高まっているか。更なる増額は。

【答】 制度に対し一定の周知がなされ、高まっている。増額は考えていない。



▲カメムシに食われた米

◇空家対策事業について

【問】 空き家対策事業の除却工事費の補助件数は。

【答】 4件。

◇自由通路等整備事業について

【問】 今後の予定は。

【答】 詳細設計を基に工事を進めていく。

# 委員会レポート

令和4年度決算

9月定例会のあらまし

議案等の賛否状況一覧

委員会レポート

行政視察受入報告・委員会視察

一般質問

お知らせ